

# 目 次

## 農学科

### 暖地農学コース

NO	氏 名	題 名
1	稲村 勇人	Url 遺伝子を有する <i>japonica</i> 水稻系統の収量と倒伏抵抗性に関する研究
2	伊藤 咲南	植物成長調整物質を用いた種なしスイカ作出技術の実用化に関する研究
3	井上 陽香	ウン凍結乾燥細胞による常温保存の可能性
4	植田 臨太郎	こうち型集落営農の展開に関する研究－高知県本山町Y営農組合を対象に－
5	大塚 萌花	絶滅危惧種オキナワセッコクの組織培養に関する研究
6	岡田 朋也	稲の <i>sd1-d</i> (低脚烏尖矮性遺伝子)が収量および関連形質に及ぼす作用に関する研究
7	岡田 利菜	ユズの窒素吸収特性と菌根菌及び竹堆肥が生育に及ぼす影響
8	岡本 晴佳	‘土佐文旦’の植物成長調節剤1-ナフタレン酢酸利用による果実肥大および品質向上に関する研究
9	尾崎 晴香	葉面パラメーターの変化からみた茶葉の耐凍性獲得について
10	貝柄 佐織	散乱光フィルムがトマトの生育・収量ならびに栽培環境に及ぼす影響
11	嘉瀬井 祥太	石垣蓄熱ハウスの環境解析と作物栽培への応用
12	堅田 睦	ブルースターの花器の構造観察と花粉発芽試験
13	加藤 輝子	ソーラーシェアリング下の光環境と作物生育特性
14	川村 和毅	ユズにおける施肥量の違いがNormalized Difference Vegetation Index (NDVI)に及ぼす影響
15	楠永 祐藏	グロリオサの側枝を利用した組織培養に関する研究
16	竹澤 文佳	珪酸塩白土の施用が果菜類の生育と収量品質に及ぼす影響
17	富永 鈴加	天然型アブシシン酸がユズの生育・収穫量に及ぼす影響および三原村ユズ園での収穫量に園地間差が発生する要因解明
18	花田 鵬樹	畑圃場条件における陸稲の生育・根系発達に及ぼす土壌部分圧縮の影響
19	濱田 彩里	低温期のピーマン栽培における赤外線カットフィルムならびにトレハロースの影響
20	弘中 南帆	熱帯果樹の苗木増殖に関する研究
21	福岡 由希子	地域資源の給与が褐毛和種高知系の微生物叢に与える影響
22	福永 涼太	水稻玄米の外観品質、粒径および胚乳細胞内部形態の関係
23	藤田 みのり	カンキツ受粉用花粉の効率的採取方法および使用前調製に関する研究
24	松井 莉咲	ハウス内局所環境制御が作物生育に与える影響
25	丸山 美豊	高温期の普通ナス栽培におけるトレハロース葉面散布の効果
26	光成 美碧	褐毛和種高知系への柚子果皮および食用カンナ地上部の給与効果
27	森本 愛歩	温室屋根面における結露発生に関する微細気象学的研究
28	矢野 豪人	個別経営分析からみる農業経営法人化の影響－大分県日田市Y経営体を対象に－
29	山崎 貴史	水蒸気交換過程を考慮した温室の環境動態モデリング
30	山下 瑠依子	褐毛和種高知系の生産出荷体制～高知県嶺北地域を中心に～
31	山西 望未	常緑広葉樹アラカン寄主植物とするカシノキマタハダニの越冬様式

海洋生物生産学コース

NO	氏名	題名
1	中道 星良	有明海において河口域を成育場とする遡河回遊エツ(カタクチイワシ科), 降河回遊ヤマノカミ(カジカ科)および両側回遊シマフグ(フグ科)の幼期分布の比較
2	内園 明日美	高知県浦ノ内湾における水塊湧昇現象に関する研究
3	坂本 友美子	海産微小珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> の栄養塩依存型の生理変動を解析可能な技術基盤の開発
4	赤木 俊亮	野見湾にて発生した赤潮原因藻の性状検討
5	秋澤 成美	ブリとヒラメの感染防御に及ぼす混養飼育の効果
6	浅野 拓洋	カワムツ3地方品種におけるなわばり行動の品種間差
7	石郷 海友	生分解性プラスチックPHBHの分解産物がエビの疾病原因細菌に与える増殖抑制効果
8	岩井 秀太	高知県沿岸における温帯性魚類と熱帯性魚類の食性: 藻食魚類
9	内田 拓人	ヒラメ感染症に対する各種プロバイオティクスの予防効果
10	大上 浩樹	様々な水温と水圧下に生息する魚類I型コラーゲンの物理化学的性状
11	大塚 楓真	高知県沿岸における温帯性魚類と熱帯性魚類の食性: ベントス食魚類
12	奥村 悟	土佐湾におけるカジメ( <i>Ecklonia cava</i> )の被食率の季節変化
13	小原 麻佑	スケトウダラ冷凍すり身の加熱ゲル形成に及ぼす塩分組成の影響
14	加藤 佑亮	高知県鏡川における国内初のアユボケ病発生の原因究明に関する研究
15	栢 知則	高水温期におけるブリの脂質代謝に基づいた魚油代替飼料の開発
16	川村 渉	市販4業者の養殖マダイ肉の物性の比較~物性の差異は何が要因であろうか~
17	久世 和哉	mtDNAシーケンス解析によるテナガエビおよびミナミテナガエビの遺伝的集団構造の把握
18	浴田 知明	南日本海域にて発生する <i>Coolia</i> 属藻の群集組成及び動態に関する研究
19	佐野 朝咲	高知県四万十川における環境DNA分析を用いたアユの生息モニタリングと冷水病菌 <i>Flavobacterium psychrophilum</i> 分布との相関把握、ならびに産卵期での本菌の感染拡大実態調査
20	菅沼 千暉	マダイ エドワジェラ症に対するイソマルトオリゴ糖の経口投与による感染防御効果
21	杉山 真大	ブリ稚魚における濃縮ポテトタンパクの魚粉代替効果
22	泉水 彩花	Neuropeptide Y expression in response to sensory organ-detected fish meal soluble components and orally fed fish meal-based diet in yellowtail ( <i>Seriola quinqueradiata</i> )
23	津國 圭輔	嗅覚刺激が魚類の摂餌行動と消化機能に及ぼす影響
24	辻 純	汽水域に生息するカニ腸内細菌のニトロゲナーゼ活性は植物食によって誘発されるか?
25	中野 里緒	商業規模生け簀におけるドコサヘキサエン酸を豊富に含むブリ生産の実証実験
26	早坂 絵理	有毒渦鞭毛藻 <i>Prorocentrum lima</i> の増殖あるいはオカダ酸生産を促進する細菌の探索
27	藤本 有輝	四国に生息するイワナ集団の遺伝学および形態学的特徴
28	宮地 亮征	本邦沿岸域における海産渦鞭毛藻 <i>Karenia</i> 属二種の発生機構に関する研究
29	山崎 慎太郎	養殖魚における濃縮大豆タンパク質の栄養価改善
30	渡部 祐志	蛍光 <i>in situ</i> ハイブリダイゼーション(FISH)を用いたスルメイカ幼生共生細菌の検出の試み

食料科学コース

NO	氏名	題名
1	中嶋 萌絵	ベトナム・タイグエン省Tan Cuong村周辺の茶園において採取した土壌溶液の各種養分濃度
2	岩崎 太門	葉緑体におけるホスファチジン酸生合成経路は <i>Nicotiana benthamiana</i> の免疫応答に関与する
3	岡島 あかり	クロウメモドキ科植物に含まれるアルコール発酵促進物質の単離と同定
4	岡本 和華	ヨーグルトの乳酸菌発酵とカード形成に及ぼす黒酵母 $\beta$ -グルカンの効果
5	奥村 夏帆	ベトナムTan Cuong茶の総ポリフェノール量及び抗酸化活性
6	小野 悠真	金属ポンプECA3はイネのマンガン欠乏耐性に関与する
7	OYUN SUVD- ERDENE	Assessment of bioactivity of Mongolian wild edible plants
8	阪地 満帆	各種アルコール飲料中の環状ジペプチドの定量
9	笹岡 愛加	アミノ酸資化能と脱水素酵素活性の関連性
10	左々 玲奈	超好塩アーキアのポリ $\gamma$ -グルタミン酸合成遺伝子
11	柴原 和雅	ベトナム・タイグエン省の茶園における土壌断面試料中の微量元素の形態別存在量
12	瀬沼 和香奈	ヒスチジンセンサーカイネースPhcK、VsrAおよびPhcSのヒスチジン残基の青枯病菌OE1-1株のクオラムセンシングへの関与
13	西 悠介	CDFファミリーに属する金属輸送体群の機能解析
14	丹羽 風香	新規セルロースの食品素材としての適性評価に関する研究
15	平山 恵梨	小麦アレルギー患者向けグルテンフリー食品の試作研究 —米粉とパルプ抽出物の熱・水分基本特性の測定—
16	藤倉 緋子	鯉節の品質変化に対する保蔵条件の影響
17	栴田 優菜	<i>Rhodococcus</i> sp. KO20に由来するアミノ酸化酵素の諸性質
18	松尾 優気	乳酸菌をスターターに用いた高知県産薬草茶葉の微生物発酵とその評価
19	三前 葉里子	シニア食品向け新規とろみ剤の開発とその粘性評価に関する研究
20	村木 貴哉	塩類集積地におけるアルファルファ植草土壌の理化学性
21	柳田 景亮	高知県産未利用植物が有する隣リパーゼ阻害活性物質
22	山根 佳奈	ベトナムTan Cuong茶のカテキン類及びテアニン量
23	吉野 菜々子	ブタ卵子の低温傷害における細胞質型ホスホリパーゼA <sub>2</sub> $\alpha$ の役割
24	桂 一智	ゼブラフィッシュ未成熟卵子の高浸透圧傷害におけるプロテアーゼの役割

生命化学コース

NO	氏名	題名
1	岩瀬 寛子	ヨーロッパモリネズミの過排卵誘起法の開発
2	宇佐 名央	セレンシステイン分解に関わる酵素の探索とその性質
3	大久保 秀平	巨大ウイルスが持つR3HDドメイン含有推定上エキソヌクレアーゼMIMLR431の生化学的機能解析
4	太田 陵介	オガタマを寄主とするミカドアゲハの産卵刺激物質の探求
5	岡村 紗希	ワタアブラムシによるムクゲの成分変化
6	梶原 菜央	マレーシアの水田土壌における緑の革命後50年間の肥沃度変化
7	勝木 希	高温高圧条件下での好熱性アーキアの培養特性解析
8	亀永 康太	後発酵茶のAGEs生成阻害活性及び関与成分の解明
9	川本 大輝	exo型セルロース分解酵素CbhAは青枯病菌OE1-1株の運動能に関わる
10	糺谷 啓仁	吟醸酒の質的向上をめざした清酒酵母の育種と県産酒造好適米の評価
11	小林 勇一郎	青枯病菌クオラムセンシングシグナル分子の自己分解機構の解明
12	榊山 萌	トビイロウンカの産卵刺激物質の探求
13	佐々木 将太郎	青枯病菌OE1-1株におけるクオラムセンシングの制御に関わる新奇遺伝子の探索
14	佐藤 嶺	緑藻ウルバン資化細菌によるウルバンリアーゼの選択的利用
15	田上 修平	小胞体-葉緑体間のリン脂質輸送に関わるトリガラクトシルジアシルグリセロールタンパク質は <i>Nicotiana benthamiana</i> の免疫応答に関与する
16	武田 隼平	ポリεリジンベースオルガノゲル
17	野口 麻衣	高知県産ミナミアオノリのメタノール抽出物に見出される抗菌活性
18	原田 泰輔	<i>Pseudomonas putida</i> NBRC100650Iに由来するBapAタンパク質の機能解析
19	福井 諄子	タバコ植物 <i>Nicotiana benthamiana</i> の免疫応答における3-phosphoinositide dependent protein kinase の役割
20	三谷 桜	超好熱性真正細菌 <i>Aquifex aeolicus</i> 由来塩基除去修復酵素群ウラシルDNAグリコシラーゼ及びAPエンドヌクレアーゼの生化学的機能解析
21	山内 七海	ポリγグルタミン酸の効率回収に向けた検討
22	山下 香織	ゼブラフィッシュ成熟卵子の細胞膜透過性向上の試み
23	山本 雄大	高知県三原村における水田転換ユズ園の土壌肥沃度特性

自然環境学コース

NO	氏名	題名
1	浅井 誠一郎	初期条件の相違が模型斜面の崩壊に及ぼす影響
2	磯田 童奈	高知県野生植物からの創薬シーズの探索 -コセンダングサからのダンゴムシ忌避物質-
3	多木 達郎	ファインバブルを用いた溶存態有機物の効率的分解・除去による食品産業排水の浄化
4	大西 啓司	侵入害虫ヨツモンカメノコハムシの発育に及ぼす温度の影響
5	川西 本気	人工降雨下の模型斜面の崩壊直前の挙動
6	齋藤 亨矢	海洋深層水で連続培養した付着性微細藻類のみを餌料に用いた新しいアワビ養殖法の開発
7	菅沼 拓都	高知県中部におけるトンボ相による環境評価の試み
8	高島 央莉人	高知大学物部キャンパスにおけるバッタ目相
9	高橋 秀伍	在来種・外来種・国内外来種のタンポポ属3種の生息パターンとその要因
10	田中 結菜	メスグロハナレメイエバエの子ビクロバネキノコバエに対する捕食効率
11	田淵 浩二郎	海水中における還元型リンの挙動に関する研究
12	轟木 彩子	ユズ果実加工残渣の堆肥化に関する研究
13	武藤 美樹	カシノキマタハダニの夏世代と冬世代における生活史の比較
14	森山 瑠理	スイートピーへのジャスモン酸処理によるハスモンヨトウ幼虫に対する誘導抵抗性に関する研究
15	吉川 広人	自然海岸を利用したアサリに適した生息環境の検証 ～小豆島沿岸の修復と活用に向けて～
16	若下 優帆	斜面からの降雨流出に及ぼす地形条件の影響
17	和田 結衣	土着天敵メスグロハナレメイエバエの生物農薬資材としての利用のための基礎的研究

流域環境工学コース

NO	氏 名	題 名
1	正木 伸幸	小規模水域におけるバイオリギングデータ取得の試み
2	石川 秀之	ナトリウム系含浸材を用いた新たな表面被覆工法の中性化抑止効果と長期耐久性の評価
3	市川 舞	ため池堤体のペントナイト混合土による補修技術の開発に向けた基礎的研究
4	上柿 佳菜	水田作土のレキ分布が耕耘爪摩耗およびイネ収量に与える影響
5	大岩 史奈	渓流魚を対象としたV型断面可搬式魚道の提案
6	大友 里紗	下水処理水による大型藻類 <i>Ulva meridionalis</i> 培養条件の検討
7	金子 寛	農業用ため池における植物プランクトンの分布特性に関する研究
8	川口 裕	小規模な再生可能エネルギーの自発的導入が地域の住民意識に及ぼす影響に関する一考察
9	近藤 竜平	自動車騒音予測式の妥当性評価
10	須藤 千尋	回転円板型促進酸化装置内の流れ構造の解明
11	中山 優里香	平成28年熊本地震で液状化した地盤特性に関する研究
12	西村 大輝	常時微動観測による海岸平野部の地盤リスクと木造住宅の固有周期の評価
13	蜂谷 健太	農業用ため池における水生植物の分布特性及び植生下の水理環境
14	東川 義弘	排水ポンプ操作が下水道および放流先河川の流況に与える影響に関する研究
15	藤川 真理子	下水汚泥処理工程における亜酸化窒素排出メカニズムの検討
16	堀 直也	地方都市における子ども騒音問題の課題と対策
17	宮原 悠嘉	効果的な休憩時間の設定による農作業負担軽減の検討
18	吉貞 こころ	正浸透法による下水中有機物濃縮システムの検討
19	芳本 健太	ため池堤体土の物理的特徴と液状化特性に関する研究

## 森林科学コース

NO	氏名	題名
1	磯崎 和樹	木質梁部材の強度・剛性向上法
2	藤谷 新	ロープを活用した既存木造住宅の耐震補強法の開発
3	小原 直毅	天然成分を活用した冷凍食品調理香の保持とリリースに関する研究
4	小島 志郎	高等学校における林業系キャリア教育の現状と課題 ～高知県を事例として～
5	國武 桃	物部キャンパス内で見られる木材腐朽菌の種類と菌糸・子実体の特徴
6	幸泉 茉友	針広混交林における広葉樹のバイオマス燃料利用
7	甲平 佳奈	架線シミュレーターによる力学の見える化とその効果
8	鈴木 友里愛	樹木精油の香りが人体に及ぼす影響
9	高尾 弥優	平成30年7月豪雨による小規模斜面崩壊の無人航空機を用いた計測
10	豊永 竜司	さおりが原のシカ食害対策区における無人航空機を用いたモニタリング
11	橋本 祐真	オゾンを活用した紙おむつリサイクル技術－実装に向けた処理排水分析－
12	藤田 裕大	界面重合反応を活用した紙表面上での分子インプリントポリマー合成と排水中の医薬成分除去能
13	浅野 峻	作業道開設が林内下層植生被覆状況に与える影響

## 国際支援学コース

NO	氏 名	題 名
1	矢島 由寛	無人航空機を用いた間伐履歴の取得
2	遠藤 萌果	家畜排せつ物の処理形態の現状と耕畜連携拡大に向けての課題 -高知県南国市の事例から-
3	後藤 啓太	食用カンナにおける生育および根茎・デンプン収量の遺伝的変異
4	田中 浩朗	農業生産工程管理(GAP)の現状と高知県の取り組み
5	朽尾 妃奈	タイのマングローブの保全と管理体制の課題
6	堀田 康介	底質中のマイクロプラスチック測定法の確立と国分川の底質分析への適用



## 土佐さがけプログラム

### 生命・環境人材育成コース

NO	氏名	題名
1	小椋 梨花	<i>Burkholderia</i> sp. HME13のエルゴチオネイン代謝オペロンを制御すると推定される遺伝子のクローニング
2	東田 容輝	<i>Thermus thermophilus</i> HB8に由来する好熱性L-β-ヒドロキシ-α-アミノ酸代謝酵素の機能解析
3	西川 奈七	嫌気条件下でのSIGEX法を用いた海底下微生物遺伝子の基質応答解析
4	間瀬 康平	高知県産未利用植物が示す蛋白質糖化抑制作用の研究

# 目 次

## 農学科

### 食料科学コース

NO	氏 名	題 名
1	桑元 彩希	異なる安定性を持つ人工シデロフォア-鉄(Ⅲ)錯体4種の植物に対する鉄供給能の解析

### 生命化学コース

NO	氏 名	題 名
1	中安 有朔	ゼブラフィッシュのきわめて未熟な卵子における高浸透圧傷害

### 国際支援学コース

NO	氏 名	題 名
1	廣澤 典子	ブリのコレストキニンCCK-8の質量分析